

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

活動報告書

〈2017年9月～2018年8月〉

Leave No One Behind

誰一人取り残さないために、私たちができること



LGBTも働きやすい職場づくり 生きやすい社会づくり

虹色ダイバーシティは

LGBT等の性的マイノリティが働きやすい職場づくりを通じて
性的マイノリティとそのALLY(同盟者、支援者)をエンパワーレ
すべての人々が生きやすい社会づくりを目指します



NIJIIRO DIVERSITY

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

Leave No One Behind

誰一人取り残さないために、
私たちができること

虹色ダイバーシティの活動は、2018年で6期目を迎えます。ご支援いただいているみなさま、本当にありがとうございます。

LGBTが職場や社会の中で抱える問題に関しては、日本でも年々認知が広がっていると感じます。しかし、ポジティブなニュースも多い一方で、差別的な言動、差別的な取り扱いに関しても可視化されつつあり、職場によって大きな格差が生じています。私たちは、国連の目指す「誰一人取り残さない(Leave No One Behind)」社会の実現に賛同し、より多くの仲間とともに活動を進めていきたいと考えています。

2018年夏に参加したLGBTに関する国際会議で、「誰一人取り残さない」ためには、**誰がどの程度、どうした理由で取り残されているのか、どうしたらその人たちを支援できるのか**、を明らかにしなくてはいけない、という話がありました。私たちは日本で、この課題にチャレンジしたいと思います。それは、日本の社会の中であまり想定されていない、多様な性を生きる人たちの声を可視化し、その課題と解決に向けた取り組みを広げること、です。

具体的には、学術機関と連携した調査研究データを基盤に、職場や社会の中でカミング

アウトしにくいLGBTの、声にならない「声」を集めて、企業や行政の取り組みを支援し、書籍やインターネット、メディア対応などを通じて積極的に情報発信しています。また、大阪市淀川区のコミュニティースペースの運営など、LGBT当事者やその周囲の方を直接支援する活動にも取り組んでおり、その成果を地道に全国に広げる活動をしています。私たちは、当事者であり、支援者であり、シンクタンクであり、コンサルタントであり、リソースセンターやアドボケーターでもある、という非常にユニークな立場で活動しています。

事業を通じて、私たちは様々な立場のLGBT当事者、企業や行政、NPOの人たちとお会いしていますが、実感しているのは、LGBTが声をあげられるような職場環境では、その他の「話しにくい」話題も話し合えるようになる、ということです。**私たちの活動は、LGBTのためだけでなく、みんなのためになる**と信じています。

こうした活動をもっと広げるために、より多くの方のお力添えが必要です。虹色ダイバーシティの活動を是非、応援してください!



LGBTと職場に関する プロフェッショナル

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ 理事長(代表)
村木 真紀

1974年茨城県生まれ。京都大学 総合人間学部 卒業。社会保険労務士。日系大手製造業、外資系コンサルティング会社等を経て現職。LGBT当事者としての実感とコンサルタントとしての経験を活かして、LGBTに関する調査研究、講演活動を行っている。大手企業、行政、大学等で講演実績多数。共著「職場の LGBT 読本」、「ランスジェンダーと職場環境ハンドブック」。

虹色ダイバーシティとSDGs



2030年に向けた
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGs

虹色ダイバーシティの取り組み



1/ 货幣をなくそう 2/ 飢餓をゼロに

- LGBTであることで学校や職場から疎外されることが貧困に繋がるため、アンケート調査等により、学校や職場におけるLGBTの課題の可視化と、その背景の分析に取り組んでいる
- 貧困の問題に取り組む行政やNPOに対して、研修を実施し、共同でイベントを行っている



3/ すべての人に健康と福祉を

- アンケート調査等により、LGBTの健康問題の可視化に取り組んでいる
- 行政職員向けの研修を実施しており、福祉の問題に取り組む人にLGBTについて知つてもらう活動をしている



4/ 質の高い教育をみんなに

- アンケート調査等により、LGBTの教育問題の可視化と、その背景の分析に取り組んでいる
- 教職員、学生向けの研修や講義を実施し、より良い教育環境づくりに取り組んでいる



5/ ジェンダー平等を実現しよう

- LGBTの平等はジェンダーの平等なしには実現しない、という信念の元、ダイバーシティ施策の一環としてLGBTの課題に取り組むよう、企業や行政に働きかけている
- LGBTに関する調査研究にジェンダー平等に関する知見を活かすため、国際基督教大学ジェンダー研究センターとの協働など、ジェンダーに関する研究者との連携を積極的に行なっている



6/ 安全な水とトイレを世界中に

- 特にトランスジェンダーで、公共トイレが使いにくいという課題があることを、アンケート調査のデータ等を元に社会に訴えている



8/ 働きがいも経済成長も

- LGBTと職場の問題に関して、専門家として、調査研究、情報発信をしている
- LGBTに関するハラスメントが社会的損失であることを可視化するプロジェクトに参画している



10/ 人や国の不平等をなくそう

- 多様な性を生きる人たちが社会の中でどのような不平等な経験をしているのかを調査し、社会に訴えている
- 不平等を是正するための社内規定や自治体の条例について、個別に相談を受けている



11/ 住み続けられるまちづくりを

- 大阪市淀川区LGBT支援事業を受託し、その成果を全国に広げる活動をしている
- 地方での講演や研修を実施している
- LGBT施策の担い手を育てる「LGBTスピーカースキルアップ講座」を全国9箇所で実施した
- 地方の問題に関して、アンケート調査等で可視化に努めている



12/ つくる責任つかう責任

- 必要物品の購入の際は、LGBT施策を実施している企業の商品を選択するよう努めている



16/ 平和と公正をすべての人に

- 法の下の平等の観点から、性的指向や性自認等によって差別されず、公正に扱われる職場づくり、社会づくりに向けた活動をしている



17/ パートナーシップで目標を達成しよう

- 企業、行政はもちろん、学術機関や他分野NPOとの連携に力を入れている



沿革

2012

イギリスで行われたLGBTと職場に関する国際会議に参加／講演活動を開始

2013 | 講演28回

一般財団法人ダイバーシティ研究所の運営するシェアオフィスに入居／7月26日にNPO法人化

2014 | 講演102回

淀川区LGBT支援事業を受託(2018年度まで継続)／LGBTと職場環境に関するアンケート調査(国際基督教大学ジェンダー研究センターと共同研究、2015年、2016年も実施)

2015 | 講演117回

Google「Google+インバウンドチャレンジ賞」受賞／共著「職場のLGBT読本」発行／米国務省ILPPIに村木が選出され、アメリカ5都市を視察／日経WOMAN!「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2016 チェンジメーカー賞」受賞

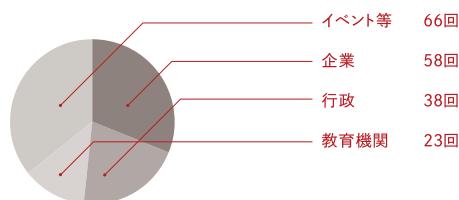
2016 | 講演150回

大阪オフィス開設／LGBTフレンドリー・マップ「nijiNAVI」開設／LGBTとトイレに関するアンケート調査(LIXILと共同研究)／TEDxUTokyoに出演(スポーツとLGBTがテーマ)／日本経済新聞社「日経ソーシャルイニシアチブ大賞 新人賞」受賞／LGBTスピーカースキルアップ講座を実施(大阪、東京、仙台、福岡)／ILGAの資料を参考に日本語版の「性的指向に関する世界地図」を発表／内閣人事局にてLGBT研修／新公益連盟に加盟

2017.1~8 | 講演86回

[8月末] 東京オフィス開設／渋谷区パートナーシップ証明実態調査(渋谷区の受託事業)／LGBTスピーカースキルアップ講座を実施(札幌、名古屋、沖縄)／港区にて「性的マイノリティとトイレ・フォーラム」を実施／日本トイレ研究所「日本トイレひひと大賞」受賞／司法研修所(裁判官向け)、人事院にてLGBT研修

2017.9~2018.8 研修・講演 185回



○LGBTスピーカースキルアップ講座を実施(那覇、金沢、高松)

○共著「トランスジェンダーと職場環境ハンドブック」発行

○YouTubeチャンネル「niji STATION」開設

○企業内のALLYを増やす取り組みに関する調査(JTと共同研究)

○LGBTと職場に関するアンケート調査「niji VOICE 2018」を実施(国際基督教大学ジェンダー研究センターと共同研究)

○独立行政法人 労働政策研究・研修機構による「LGBTの社会的困難による経済損失の推計」プロジェクトに参画

○カナダで開催されたLGBTに関する国際会議Equal Rights Coalitionに日本の市民団体として参加

○人事院、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、消防大学校にてLGBT研修

○日本教育心理学会で発表(加藤)

○NPO法成立20周年記念フォーラム、新公益連盟主催フォーラムに登壇(村木)

○特例認定NPO法人を取得

○東京レインボープライド(2018)、関西レインボーフェスタ!(2017)にブース出展

○LGBTと職場に関するカンファレンス「work with Pride 2017」に参画

他団体とのコラボ

○認定NPO法人ビッグイシュー基金主催のフットサル大会(ダイバーシティカップin関西)にLGBTAチームで出場し優勝(エンジョイリーグ部門)

○ミュージカル「FUN HOME」出演者向けのワークショップを実施

○認定NPO法人育て上げネットでSNS相談員向けに研修

○認定NPO法人DxPと定時制高校教職員向けイベント

○松下政経塾、LLAN、多様性と境界に関する対話と表現の研究所、LGBT Youth Japan等の勉強会に協力

○障害者就労支援施設book and café cocoaruのドリップコーヒーを販売、関西レインボーフェスタ!に共同出展

○大阪府の若者向け就労支援施設にて実施された「大阪 LGBT100 人会議」に協力

○プラッタジャパンと共に、メディア関係者向け、広報担当者向けのセミナーを開催

○龍谷大学のLGBTに関する取り組みに協力

熱い思いを持ったスタッフが 集まっています



企業、大学での講演や
教材作成を担当

加藤 悠二 東京スタッフ

1983年東京都生まれ。国際基督教大学大
学院卒業。修士(行政学)。一般企業を経て、
国際基督教大学ジェンダー研究センターに
7年間勤務し、様々な大学からLGBT学生支
援に関する相談を受ける。2017年より現職。
企業、大学での講演の他、動画教材「niji
STATION」のシナリオ、eラーニングなどの教育
資材の作成を主導。単著「ジェンダー・セク
シュアリティとキャンパスライフ Vol.2 やれる
ことリスト 108 at University」(国際基督教
大学ジェンダー研究センター 2016)、共著
「トランジンダーと職場環境ハンドブック」
(日本能率協会マネジメントセンター 2018)。



企業、行政、大学での講演、
淀川区LGBT支援事業を担当

橋本 竜二 大阪スタッフ

1990年滋賀県生まれ。龍谷大学文学部哲
学科卒業。日系大手ハウスメーカー、滋賀の
不動産にて住宅営業職を経て、2016年より
現職。大阪市淀川区LGBT支援事業の運営、
講演活動などを担当。行政や教育機関の
LGBT施策に関する相談に、LGBT支援の現場
を知るアドバイザーとして関わる。龍谷大学
宗教部発行の冊子「大学生のためのLGBTQ
サバイバルブック～先輩たちのライнстー
リーズ～」、浄土宗総合研究所発行の冊子
「それぞれのかがやき:LGBTを知る」に寄稿。



頼もしい
バックオフィス担当

谷口 優子 大阪スタッフ

1970年福岡県生まれ。熊本女子大学(現
熊本県立大学)経営学部経営学科卒業。
大手英会話学校で5年間勤務後、沖縄の
設計事務所にて、国内の米軍基地の設計
業務部のコーディネーターとして勤務。2017
年6月より現職。総務・経理の他、行政提出
資料の作成や英語でのコミュニケーションを
担当。



ホームページやSNSでの情報
発信、コミュニケーションを担当

井上 陽子 大阪スタッフ

1975年兵庫県生まれ。大学卒業後、印刷
関連企業にて約13年間、印刷物の企画・
デザインに従事。その後、美容室の経営企画
と人事担当を経験。フリーランスにてデザイン
や写真撮影をする傍ら、2017年4月より虹色
ダイバーシティに参画。主にホームページ、
SNSの管理、グッズの企画や販売、記録撮影
を担当。

理事



東 優子
大阪府立大学教授



菅原 絵美
大阪経済法科大学
国際学部准教授



坂田 麻智
電気メーカー勤務



テレサ・スティーガー
教育関連企業勤務

監事



三輪 晃義
のぞみ共同法律事務所
弁護士

メディアでも活動が 取り上げられています!

2017.9~2018.8のメディア掲載(一部)



書籍

日本評論社「性のあり方の多
様性～一人ひとりのセクシュ
アリティが大切にされる社会
を目指して～」に寄稿



テレビ

NHK「おはよう関西」
NHK「首都圏ニュース」
Eテレ「ハートネットTV」
日本テレビ「映画天国」
西日本放送「news every.」



雑誌

Business Labor Trend
東洋経済CSR企業白書
月刊自治研
企業実務
THE BIG ISSUE JAPAN
政策・経営研究



新聞

日経新聞 朝日新聞
毎日新聞 読売新聞
東京新聞 生産性新聞



ウェブ・
メディア

ハフィントン・ポスト
バズフィード
WEBRONZA
ソフトバンク ビジネス+IT

社会を変える データをつくる！

LGBTは職場や社会の中でカミングアウトしにくく、その困難も見えにくいマイノリティだと
言われています。私たちは学術機関や企業、行政と協力して、
LGBTに関する調査研究を行い、確かなデータを無償で広く公開することで、
社会の意識変革やLGBT施策推進の後押しをしています。

職場に関する調査

- 👉 70%以上の職場で何もLGBT施策が行われていない
- 👉 LGBTは職場だけでなく、
様々な場面で差別的取り扱いを経験している

虹色ダイバーシティは、国際基督教大学ジェンダー研究センターと共同で、インターネット上で LGBT と職場に関するアンケート調査を実施しています。2014年～2016年の3ヵ年で LGBT 当事者 5,000人以上の声を集めており、これは国際的にも非常に貴重なデータだと評価されています。2018年は「niji VOICE 2018」というプロジェクト名で、職場だけでなくその背景としての生活に関する質問も追加しました(2018年12月に報告会を実施予定)。

こうした調査結果はホームページ上で広く公開しており、職場の LGBT 施策推進の裏付けとなる資料として使われています。メディアで紹介される機会も多く、学術論文にもなっています。



niji VOICE 2018 [速報版] LGBT 1,612人の声

LGBT
45.8%



LGBT
71.2%

職場でLGBT施策が
何も行われていない

パートナーを親族扱い
してほしい希望があつても、
申し出ることができなかつた

LGBT
19.6%



LGBT
6.4%



病院等で親族として
扱ってもらえなかつた

LGBT
13.8%

職場の家族向けの休暇や
手当の対象にならなかつた

死ねたらと思った、
または、自分の死の
可能性を考えた

現在「うつ病」を
抱えている

LGBT
36.1% T 50.7%

LGBT
14.2%



企業内のALLYに関する取り組みの検証

- 👉 研修やeラーニングで LGBTに関する理解度が上がる
- 👉 当事者を身近に感じること、
ALLYとしてロールモデルがいることも大事

日本の企業の取り組みが、実際にどのように職場を変えているのか、日本たばこ産業株式会社(JT)様にご協力いただき、社内で従業員を対象にしたアンケート調査を実施し、その結果を公開しました。



LGBT研修を行う企業は増えていますが、職場の雰囲気が変わったと実感している当事者は、まだ多くありません。私たちは、研修を実施しただけで終わらせず、その効果をしっかりと検証して、次の施策につなげることが大事だと考えています。

[報告会のレポート]

http://nijirodiversity.jp/2018_jt_survey-report/

[受賞]

JT様はこの取り組みで work with Pride 2018においてベスト・プラクティス賞を受賞、また、本研究にご協力いただいた中央大学大学院の東由紀様が同大学院にて優秀論文賞を受賞しています。

カナダ国際会議への参加

- 👉 G7でERCに参加していないのは日本だけ
- 👉 国のLGBTに関する取り組みを指標で評価する
プロジェクトが進んでいる



カナダで開催された LGBTに関する国際会議 ERC:Equal Rights Coalition に、日本の市民団体としてご招待いただきました。この会議にて、UNDPと世界銀行のプロジェクトとして、国の LGBT に関する取り組みを指標にして評価する「LGBTI Inclusion Index」が発表されました。今後、虹色ダイバーシティの調査研究データもこの指標への回答として使えるよう、工夫ていきたいと思います。

企業のLGBT施策推進のパートナーとして

LGBT施策に関しては、日本企業のほとんどは、まだ取り組みをはじめたばかりです。

どんな風に進めたらいいのか、多くの企業が悩んでいます。

虹色ダイバーシティは、企業で働いてきた当事者としての実感と最新のデータ、コンサルタント等としての経験を活かして、企業の取り組みを全力でサポートしています!

心を動かすLGBT研修

LGBTに関する基礎知識について、現状の教育現場では学ぶ機会がほとんどありません。また、当事者を身近に感じる機会が少ないので、当事者の実体験を直接聞きたい、というニーズもあります。そこで虹色ダイバーシティでは、多様な背景を持つLGBT当事者を講師に、分かりやすいスライドで基礎知識をしっかり学ぶことができるプログラムを用意しました。

私たちは、大手企業を中心に150社以上の研修実績があり(ホームページで社名を公開しています)、非常に満足度が高いのが特徴です。標準的なプログラムだけでなく、人事、役員、管理職などの階層別、業界別、グループワークを入れたい等のニーズ別など、幅広く対応できるのも強みです。

「虹色ダイバーシティにお願いして、本当にやった」「研修をしてから、社内の空気が変わった」、そう言っていただけるのが私たちのやりがいです。



担当者の悩みと一緒に解決

虹色ダイバーシティには、人事やダイバーシティの担当者から、様々な相談が寄せられています。

社内でカミングアウトしてきた人がいるが、どう対応したらいいか?



社内規則や福利厚生を変えたいが、他社はどうしているのか?

社内でLGBTグループをつくりたいが、どうやって運営したらいいのか?



私たちは、本来こうあるべきという思いを柱に、各社特有の事情をお伺いした上で、一緒に悩み、当事者としての実感と豊富な事例・知見をベースにアドバイスをしています。定期的にご訪問して、様々な課題と一緒に考える顧問契約も可能です。是非、お気軽にご相談ください。

新刊
発売

ニーズに合わせた教材づくり

人事部門や本社だけではなく、現場や地方拠点にもLGBTの基礎知識を広めたい、というニーズにお応えして、動画教材(15分~20分)、eラーニング教材(スライド10~20枚)を制作、販売しています。

ホームページで通信販売しているハンドブックも好評です。

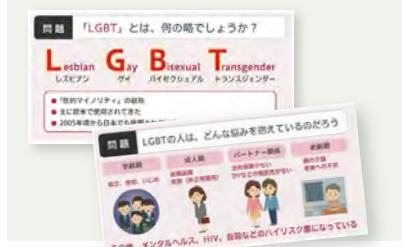


▶ 動画コンテンツ撮影風景

eラーニング

<https://lgbt.elpack.jp/>

虹色ダイバーシティで監修した、フルバージョンの教材(英語版もあり)は、NTTラーニングシステムズから販売されています。



トランスジェンダーと職場環境ハンドブック

～誰もが働きやすい職場づくり～

共著 東優子

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ

特定非営利活動法人ReBit

出版社:日本能率協会マネジメントセンター

教育現場や地域も 変えていく

虹色ダイバーシティは働きやすい職場づくりを専門にしていますが、それは企業だけでは解決しません。

LGBTの抱える課題の源流は、教育現場や地域にあります。私たちは先進的な取り組みをしている自治体や大学と協力して、LGBT支援の現場から、社会を変えるヒントを探しています。

淀川区LGBT支援事業

2018年度の淀川区LGBT支援事業をNPO法人QWRCと共同で受託し、コミュニティスペースの運営(月3回、毎回約10~30人が参加)、個別相談(月1回、予約制)などを実施しています。行政の事業という安心感もあって、LGBT当事者の中でも、障害や貧困など、複合的な困難を抱える人たちの利用が多いのも特徴です。



ご自由にご利用ください!

淀川区LGBT支援事業のホームページからPDFで資料をダウンロード可能

<http://niji-yodogawa.jp/>



日本中の自治体にこうした取り組みが広がることを願い、制作した資料を無料で公開しています

大学向け支援



大学は多くのLGBT当事者にとって大きな節目になります。生まれ育ったコミュニティを離れて、自分を探し、仲間と出会い、将来を考えるきっかけになるからです。私たちはLGBTの学生や教職員を応援する活動もしています。

○学生向け、教職員向けの研修、講義 (2017.9~2018.8)

弘前大／東洋大／立正大／亀田医療大／スタンフォード大(京都)／奈良女子大／立命館大／龍谷大／関西学院大／京都外語大／甲南大／大阪医科大／奈良県立医科大／立命館アジア太平洋大／大阪ECO動物海洋専門学校など

○LGBTA教職員のネットワークづくり

○LGBTAの若手リーダー育成事業に協力

<http://lgbtyouthleader.org/>



認定NPO法人ReBiteの実施するプログラムにアドバイザーとして参加しています。



社会を変える ツールをつくる

人口の5~8%と言われるLGBTですが、マイノリティが社会を変えていくためには、どうしたらより社会にインパクトを与えるのか、工夫する必要があります。

私たちは、自分たちだけでなく、LGBTに関する活動をする個人や団体が活動の「てこ」として使えるツールを独自に開発し、公開しています。

niji STATION (虹ステーション)



「学校や職場でLGBT研修をしたいが、予算がないし、近くに依頼できる団体もないし、そもそも誰に頼んだらいいのかわからない」、そんな声にお応えして、企業や行政で非常に満足度の高い虹色ダイバーシティのLGBT研修を、YouTubeで無料体験できるツールです。私たちが研修でお伝えしている内容を、3分~5分の短い動画、約50本に編集して、学校向け、職場向け、当事者向けなど、テーマごとにプレイリストにまとめています。是非教材としてご活用ください!

<http://nijiiridiversity.jp/nijistation/>



LGBTスピーカー・スキルアップ講座

「LGBT研修の講師を頼まれたが、どんな話をしたらいいのか自信がない」「自分の体験なら話せるが、他のセクシュアリティの人の問題はよく分からない」、そんな悩みを持つ人が増えています。そこで、LGBT当事者がスピーカーとして話す時に大事なことをお互いに学びあい、同じ地域の他のスピーカーと交流できる場として、この講座を開発しました。いわば、社会を変える担い手を増やすツールです。

全国9ヶ所(大阪、東京、福岡、仙台、札幌、名古屋、那覇、金沢、高松)で実施し、合計108人が修了書を手にしています。

「少し安心して話せるようになった」「講座で知り合った仲間と一緒に講師に行ったり、自主的に勉強会を企画したりしている」など、嬉しい声をいただいています。



◀教材の冊子は通販で販売中!

108人
修了

上記のプロジェクトは、Google インパクトチャレンジの助成を受けて実施しましたが、助成期間はすでに終了しており、現時点での予定はありません。ニーズがあれば検討したいと思いますので、是非お知らせください。



虹色ダイバーシティをご支援ください

私たちLGBT研修などの自主事業を中心に団体を運営してきましたが、常勤スタッフを安定して雇用し、事務所を維持するためには、財源のバランスを取る必要があります。特に**調査研究や行政・大学向けの支援などは、すぐに収益化が難しい事業**ですが、NPO法人としてしっかり力を入れたい事業もあります。

カミングアウトが難しく、声を上げることも難しいLGBTの「声」を、社会を変える推進力にするために、私たちのデータが必要です。是非ご支援をお願いいたします。

税額控除あります



[個人でできるサポート]

○定額寄付 每月500円～

○随時寄付 3,000円～

虹色ダイバーシティは2017年11月30日に特定認定NPO法人となっており、寄付者は、寄付額に応じて税額控除が受けられます。



ご寄付専用サイト

[法人でできるサポート]

1口10万円からの寄付をお願いしております。使途を指定したご寄付や、共同研究や共同事業、イベントでのボランティアなども可能です。是非ご相談ください。



Nijiiro Diversity

Workplace Equality for LGBT people in Japan

'Nijiiro' means 'rainbow' in Japanese. To us, it symbolizes not only the LGBT community, but also our mission of promoting diversity and inclusion in workplace. We are the first Japanese organization to take on these issues. We are one of ten finalists in the 2015 Google Impact Challenge.

Research

-Annual LGBT workplace survey and analysis
(2014,2015,2016,2018 more than 8,000 LGBT and allies)

Education

-Seminars for corporations, government entities, educational institutions
-Publish "LGBT workplace guide" 2015, "Transgender and Workplace Handbook" 2018

Donations

Like many NPOs and other organizations, we rely heavily on contributions from our supporters. For more information about making a donation, please contact our office.



✉ staff@nijiroidiversity.jp

🌐 http://nijiroidiversity.jp/nijiyo_en/



□通信販売

職場の研修に使用できる冊子、職場で使える虹色の文具など、ホームページで通信販売しています。デザイン性も高く、使いやすいため好評です。オリジナルグッズの制作も請け負っていますので、お気軽にお問い合わせください。



会計情報

(単位:千円)

■活動計算書 2017年9月～2018年8月
経常収益 47,745 当期正味財産増減 -3,696
[収益の内訳:会費・寄付金 5,285、事業収益 40,356、その他 2,103]

■貸借対照表 2018年8月31日

現預金	23,694
未収入金	7,089
その他	1,696
資産合計	32,480
未払費用	1,464
その他	1,672
負債合計	3,136
正味財産合計	29,343
負債及び正味財産合計	32,480

詳細な会計情報はホームページに掲載しています



大阪オフィス

〒530-0038 大阪市北区紅梅町1-18 #201

東京オフィス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-10-6 #408



<http://nijiroidiversity.jp/>



@nijidiversity



nijiroidiversity

制作
デザイン
発行

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ
AL13
2018年12月1日

講演、取材のご依頼、ご寄付などに関するお問い合わせはウェブサイトのお問い合わせフォームからお願いします。